

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）」利用者個票 利用者 No⑧

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）				
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向は聞き取ることはできないが、表情や仕草から思いを読み取り、笑顔の多い日常を過ごせるよう努めている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の情報をカンファレンス等で、繰り返し検証してケア内容の工夫を続けている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	表情や身体状態の観察をこまめに行い安心・安全なケアにつなげている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	表情から思いや希望を読み取り、本人のペースに添ったケアに努めている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夫婦での写真や好きな花の飾りを自室に配置し、なじみの空間で安心して過ごせる環境づくりに努めている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の影響で出かけたり、行事に参加することはできませんが、昼食や3時のお茶時間にホームの敷地内へ出て気分転換を図れるよう努めている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	表情や仕草から思いや希望を読み取り、洗濯物たたみ等の家事作業を行っている。習慣にすることで役割として職員と一緒に取り組んでいる。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夫婦でお茶の時間を過ごしたり、普段過ごされる席を隣にしたり、一緒にいられる環境づくりに努めている。また、その日の状態をみながら洗濯物たたみ等の家事作業を職員と一緒にしている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の影響で外部との交流はできていませんが、散歩やホームの敷地内へ出た際には近所の方々と挨拶を交わしている。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	顔なじみの利用者や職員がいることで安心して穏やかな日常を送れるよう努めている。また、表情やしぐさから思いや、希望を読み取り支援している。